

発行 社会福祉法人
福岡県社会福祉協議会
子育て支援事業推進室

〒816-0804
福岡県春日市原町3-1-7 クローバープラザ6階
TEL 092-584-3785
FAX 092-584-3369
Email kosodate@fuku-shakyo.jp



ふくあし



子育てサロン ぐり's ママ (篠栗町) で撮影

地域の相談場所

子育てサロンの運営主体は、お母さんや民生委員児童委員さん・社会福祉協議会・行政・ボランティアさんなど様々です。福岡県内では58市町村のうち28の市町村社協がサロン活動に取り組んでいます。

本号では、サロン立ち上げに取り組んでいる市町村社協を紹介しています。

市町村社協のサロン担当職員さんは「サロンの回数を重ねる度にお母さんたちの意見や考え方が積極的になってきて、立ち上がってから更にパワフルに活動されています。私たちでは思いつかないような、お母さんならではの意見もたくさん出ています。」と話されます。

もくじ

- 子育てサロン立ち上げに取り組む
市町村社会福祉協議会 …………… 2~3
- ありがとうございました …………… 4

サロン活動に取り組んでいるお母さんたちにとって、サロンを運営していく上で困ったときには相談できる場所が必要です。活動に行き詰った時の相談場所として地域の社協がお母さんたちの支えになれるといいですね。

(子育て支援事業推進室)



子育てサロン立ち上げに 取り組む市町村社会福祉協議会

市町村社協は、地域の親子を応援するために、サロンの活動支援、講演会の開催、子育てイベントの開催等に取り組んでいます。

今回はサロン立ち上げに取り組む市町村社協を紹介します。

新宮町社会福祉協議会

会議の様子です。
各地区の子育て
支援の情報を交換
しています。



★子育て支援に取り組み始めたきっかけ

今年度、新宮町社協では、子育て世代の親子が孤立せずに地域とつながってほしいという思いから、お母さん主体のサロンの立ち上げに取り組み始めました。

★現在の取り組み

新宮町社協と行政が連携し、地域の方の協力を得るために民生委員児童委員さん、福祉委員さんの合同会議を開催し、地域の親子の現状、サロン活動の概要について説明をされていました。参加された福祉委員さんからは「この地区にこんなに親子がいることを知りませんでした。」との声が多く聞かれました。現在、2地区の福祉会から「サロン活動に取り組んでみたい。」との声が上がっているようです。お母さんたちにも、サロン活動を知ってもらい、興味を持ってもらえるよう地域に出てサロンについて話をされています。

★担当者の思い

新宮町社協の担当の方は「民生委員児童委員さんや福祉委員さんに、親子と地域をつなぐ架け橋になってもらえたらと思っています。サロン活動が楽しく子育てできる地域づくりにつながったらいいなと思っています。」と話されました。



篠栗町社会福祉協議会

第1回目のサロンの
様子です。たくさん
の親子に参加して
いただきました。



★立ち上げのきっかけ

篠栗町では、お母さんたち主体のサロン「ぐり'sママ」が平成22年10月に立ち上がりました。篠栗町社協では、平成20年度から抱っこ法講座、産後のお母さんのためのヨガ講習会などの講座を開催していました。しかし、講座に参加される親子が固定しがちな現状があり、誰でも気軽に参加できる場所を作りたいという思いから、サロン立ち上げに取り組み始めました。

★立ち上げまでの流れ

平成21年12月に社協の広報誌で、「サロン活動をしてみませんか？」とお母さんたちに呼びかけられました。その呼びかけで集まったお母さんたちと一緒にサロンについて学んだり、他地域のサロンの見学などが行われました。第1回目のサロン開催までに、スタッフになったお母さんたちでプレサロンの開催、ポスター作りやサロンの内容などを決める準備会が3回開催されました。準備会では、お母さんたちにサロン当日に使用する音楽や当日の流れ、歌に合わせたダンスなどを決め、手書きでポスターを作成していただいたそうです。篠栗町社協は、お母さんたちが作ったポスターを町内に貼ったり、講師の先生や関係機関との連絡調整をされています。

第1回目のサロンには、40組を超えるたくさんの親子の参加があり、スタッフのお母さんたちの自信につながったようです。現在、第2回目のサロン開催に向けて準備が進められています。

★担当者の思い

篠栗町社協の担当の方は、「家に閉じこもりがちなお母さんたちが外に出てみるきっかけとなるようなサロンになるようお母さんたちと考へながら進めていきたいです。スタッフのお母さんたちが負担を感じないように後方支援を行いつつ、無理をせず楽しい活動につなげていきたいです。サロン当日だけでなく、準備も楽しんでいただけたらと思っています。」と話されました。

準備会の様子です。次のサロンに向けて話し合いをされています。



鞍手町社会福祉協議会



★立ち上げのきっかけ

鞍手町では、お母さんたち主体のサロン「くらんべりい」が平成21年4月に立ち上がりました。きっかけは、1人のお母さんが鞍手町社協に部屋を借りてサロンが出来ないかと相談されたことだそうです。平成21年2月に鞍手町社協がサロン立ち上げに向けて講演会を開催されました。相談に来たお母さんと講演会に参加した1人のお母さんが中心となり、サロンのメンバーを鞍手町社協と一緒に広報誌やチラシで呼びかけられました。その呼びかけに、お母さんたちが5名ほど集まり、くらんべりいが立ち上がりました。

現在サロンには25組の登録があり、たくさんの親子が参加されています。



★1年目と2年目の活動

1年目は、鞍手町社協がお母さんたちにサロンメニューの提案、サロンの運営等を行われたそうです。サロン活動が初めてのお母さんたちは、鞍手町社協の方に相談しながら活動を進められました。2年目になった現在は、お母さんたちが中心となり、1年目で行ったことを参考にしながら活動されています。鞍手町社協は、予算の管理とボランティア保険の加入などを行い、サロンの運営はお母さんたちに任せているそうです。お母さんたちは、1年間活動したことにより、関係機関との連携が取れるようになったそうです。今ではお母さんたちが保健師さんに直接交渉に行ったり、講師の先生を探したりと、自主的な活動につながっているようです。



★担当者の思い

鞍手町社協の担当の方は、「立ち上げ当初より、だんだんとお母さんたちが積極的になり、現在社協では、予算の管理とボランティア保険の加入などを行っています。今後、社協はサロン活動で困ったときの相談役になれたらと思っています。」と話されました。



サロンの立上げには、地域の方の理解と協力が必要となってきます。また、3つの社協ともお母さんたちが中心となってサロン活動をして欲しいとの思いがあり、上手にお母さんたちの意欲を引き出しながら立上げに向けて活動されていました。他地域のサロンの見学は、サロン活動のイメージがつきやすくお母さんたちが「サロン活動をやってみたい!」という思いに結びつきやすいようです。焦らず、時間をかけて地域の方の協力、お母さんたちの気持ちを盛り上げていきましょう。

県内でサロン活動に取り組んでいる社協は、サロン立上げ当初は社協が音頭をとりながら活動を進め、自主性を少しずつ促し、最終的にはお母さんたち主体の活動につなげていっています。サロンに顔を出す機会が減っても、後でサロンの様子を聞いたり、お母さんたちの「消防署の見学に行きたいけど、どういふ手続きが必要なんだらう?」「小学生と交流したいけど、どうやって頼めばいいんだらう?」といった疑問やアイデアを具体化するにあたって、社協が持っている地域のネットワークを駆使しながらアドバイスをされています。



ありがとうございました

11月13日(土)・14日(日)の2日間、クローバープラザ(春日市)をメイン会場に「第10回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭」を開催しました。

子育て支援事業推進室では、ふくすくキッズパークと題して、来場した親子が楽しく一緒に遊べる広場を作りました。会場には、音楽や音に合わせて体を動かす親子リトミック、わた菓子作りコーナー、スタンプラリー、手形カレンダーなどたくさんのコーナーを準備しました。

どこのコーナーもたくさんの親子で一杯になり、特にわた菓子作りは大人気で長い行列ができていました。親子リトミックもたくさんの親子に参加してもらい、楽しそうな声が会場一杯に広がりました。

遊びにきていただいたみなさん、ありがとうございました。



早いもので、今年も残すところあとわずかとなりました。今月は、たくさんの方のサロンでクリスマス会が行われています。突然現れたサンタさんにビックリしてしまい、泣きながらお母さんにしがみつくお子さんや、サンタさんからもらったプレゼントを嬉しそうに大切に抱えているお子さん、もう一つのプレゼントを待ちきれずに開けてしまいいお母さんに叱られるお子さんなど、どこのサロンも会場全体に子どもたちの声が響いてにぎやかな楽しいクリスマス会が開催されています。

さて、子育て支援事業推進室では今年もたくさんの方のサロンに訪問させていただきました。同じ子育てサロンでも、参加者が少ない、スタッフがみんな妊娠中で次のスタッフが見つからない、人数が増えたためっと広い会場で開催したいなど各サロンで様々な悩みを抱えながら、でも、みなさん笑顔で楽しそうにサロン活動をされていました。「念願の新しい会場が借りられるようになりました。」「以前から企画していた講座がやっと開催できるようになりました。」「など、みなさんの熱い思いが伝わり実現したという嬉しい話もたくさん聞くことができました。来年も、みなさんが自信を持って、仲間と楽しいサロン活動ができるように私たちも地域のみなさんと市町村社協とともに取り組んでいけたらと思っています。

また、今年は私的なことですが、結婚して新しい生活をスタートさせました。これから先輩のみなさんに色々なことを教えていただくと思っています。来年もどうぞよろしくお願ひします。

かとう (旧姓 ひらまつ)

大募集!



「ふくすく」に関するご意見・ご要望、子育てサロン等への取材依頼、子育てに関する様々なエピソードをお寄せください。皆さんの声をお待ちしています。

(子育て支援事業推進室)

この情報誌は、共同募金の配分金及び、株式会社NTTドコモ(NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド)の寄付金の一部で発行されています。